

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	05	目	02
事務事業名	出前民謡「ふるさと民謡めぐり」開催事業								
担当部署	生涯学習部生涯学習課	2801000	電話	0187-63-1111			内線	339	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	03:芸術、文化の振興
	施策	01:芸術、文化活動の振興
	施策の内容	02:文化活動参加機会の提供
根拠法令等		

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	伝統文化の継承と、市民生活に潤いと生きがいを与えることを目的とする。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	大仙市民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①民謡団体である大仙市民民謡愛好会を軸とした実行委員会が主体となり、市内の8地域に向いて民謡公演を開催する。 ②入場料は無料で、公演時間は1会場2時間。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	民謡は地域に密着した民俗芸能であり、特に高齢者にとっては娯楽の一端ともなっており、地域ごとに鑑賞機会を提供できることは意義深い。また、若手の民謡愛好者の指導育成にも効果が大きい。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 公演の開催数	回	8	8	8
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 総観客数	人	2,080	1,630	2,300
	②				
	③				
投入コスト	決算額		1,000千円	900千円	950千円
		一般財源	1,000千円	900千円	900千円
	人件費		714千円	705千円	713千円
		一般職員の年間従事人数	0.1人	0.1人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト (決算額+人件費)		1,714千円	1,605千円	1,663千円

事業を取り巻く環境	大仙市は県内有数の民謡の宝庫で人気もあり、8地域に向いて公演を行っているとはいえ、会場までなかなか足を運ばない高齢者も多い。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	伝統文化である秋田県の民謡を正しく伝承しながら、市民の心に安らぎと潤いを与えることは必要不可欠な要素である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	観客は年々減少傾向にあった中で昨年は集客が増員となった。これは開催時期について地域の観光産業と連携し「地域おこし」として開催できるような開催時期を見直したことでばかりでなく、民謡に対する地域住民のニーズが年々高まってきた効果であると思われる。 また、若い層にも民謡のすばらしさを伝える機会として本事業を開催することは、地域の民謡愛好者らの後継者の育成や伝統文化の継承という観点からも、本事業は重要な一役を担っている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	コストについて、主要な支出項目である人件費については唄い手、伴奏者などの出演者や公演準備に係る経費は必要最低限であり、既にボランティアで行っている部分も多いことからこれまで以上の縮減は困難である。 また、事業の効率性については、これまで以上に各地域のニーズに添えるように開催時期を再考し、地域祭や公民館祭りなど各地域事業と連携した開催としたところ集客が増員に転じたことから、今後も地域行事と効率的にリンクさせながら一層の集客に繋げていく。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
現状	C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	昔から伝わる伝統芸能は、地域の熱意ある者や団体により継承されているが、本事業も「公演」の他に、民謡の普及、後継者育成のための常日頃のたゆまぬ努力があり、団体育成の観点からも大きなウエイトを持つものである。大仙市でも既に歌われなくなってしまった民謡もあることから、風化・消滅を防ぐためにも行政の関与は大事である。今後は市内高校の伝統芸能部との連携も視野に対応したい。